

この学習に用いた資料、1冊1冊即座で  
有難う。

私の大要図の表は、次の通りで  
す。

- ①地球の地殻には、宇宙平均の200倍の  
濃度のウラン(Ur)が含まれている。  
附表は50年ほど前の各元素の存在比  
の地殻と宇宙全体(下図)の  
の~~比較~~比率であり、水素は地球の  
宇宙全体の濃度の僅か20分の1、炭素  
は6000分の1。——両者は出生して気体  
となり地球外へ出て行く。——  
しかしにかかわらず、何故か地球上に  
地球にはウランが解けのた。

② ①の大きさと比率に關して、最近の  
~~環境~~ 人工環境の調査と他、或是  
 (はたし月)の、ウランの存在量とチタ  
 が長はすゝにある。その内容。

③ ウランの~~抽出~~ 処理は ~~天然資源~~  
<sup>鉛</sup> といふから、海水中に<sup>鉛</sup>、また  
~~抽出~~ 鉛を抽出して~~鉛~~ 無害にする  
 がある。(日本、日本の研究では、海水中の  
 ウランを  $100\mu\text{g}/\text{kg}$  程度採取して  
 抽出して~~鉛~~ 無害にする。) <sup>理</sup> 採掘の<sup>理</sup>

実態は  
 不明

(最近ウランの<sup>鉛</sup> 抽出  
 の<sup>鉛</sup> 価格に<sup>鉛</sup> 相対)

以下は、<sup>（1）</sup> 貴国に  
 送るべき文書、~~そのほか~~ <sup>（2）</sup> 貴国に  
 送るべき文書、~~そのほか~~ <sup>（3）</sup> 貴国に

~~送るべき文書、そのほか~~ <sup>（4）</sup> 貴国に  
 送るべき文書、~~そのほか~~ <sup>（5）</sup> 貴国に

送るべき文書、~~そのほか~~ <sup>（6）</sup> 貴国に  
 送るべき文書、~~そのほか~~ <sup>（7）</sup> 貴国に

送るべき文書、~~そのほか~~ <sup>（8）</sup> 貴国に  
 送るべき文書、~~そのほか~~ <sup>（9）</sup> 貴国に

送るべき文書、~~そのほか~~ <sup>（10）</sup> 貴国に  
 送るべき文書、~~そのほか~~ <sup>（11）</sup> 貴国に

送るべき文書、~~そのほか~~ <sup>（12）</sup> 貴国に  
 送るべき文書、~~そのほか~~ <sup>（13）</sup> 貴国に

送るべき文書、~~そのほか~~ <sup>（14）</sup> 貴国に  
 送るべき文書、~~そのほか~~ <sup>（15）</sup> 貴国に

送るべき文書、~~そのほか~~ <sup>（16）</sup> 貴国に  
 送るべき文書、~~そのほか~~ <sup>（17）</sup> 貴国に

送るべき文書、~~そのほか~~ <sup>（18）</sup> 貴国に  
 送るべき文書、~~そのほか~~ <sup>（19）</sup> 貴国に

長期の展望の点については、交易に支那  
を主眼とする場合は有利である。

Topの長期展望を少し取り持った  
点では、ウラン資源(2000年時点)  
先入権を確保する必要がある。これは  
「ウラン存在状況」として呼ばれるべきか)  
が、従来のウラン資源と比べて本質的  
に違う点を指摘する必要がある。以上  
が本稿の主要な論点である。申請書  
による調査報告書は下す。